

消化器内科専攻医研修カリキュラム

1 研修目標

主要な消化器疾患の診断、治療と生活指導ができるようになるための能力を身につける。
日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医になるために必要な知識・技能・態度を身につける。

研修医および医学生に対して適切な教育ができる。

プライマリケアとしての救急診療を適切に行うことができる。

(A コース): 日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医になるための3年間のストレート研修

(B コース): 一般臨床医としての消化器疾患の診断、治療と生活指導が出来る能力を身につける、消化器疾患の救急診療を適切に行うことができるようになるための3～6ヶ月単位でのローテーション研修

2 研修内容

(A コース)

(1)1 年次研修内容

消化器疾患の診察方法

消化管出血の診断、肝機能異常の鑑別診断、肝性脳症の診断、急性腹症の鑑別診断

消化器疾患に関する検査技術の習得

上部、下部消化管内視鏡検査、ERCP、PTCD、腹部超音波検査、エコー下肝生検

消化器疾患に対する適切な治療方針の決定と指示

消化管出血に対する内視鏡的治療技術の習得

エタノール局注、クリップ止血、APC

画像診断法(CT, MRI, echo, angio, UGI, Barium, enema etc)の的確な読影能力の習得

インフォームドコンセント能力の習得

(2)2 年次研修内容

消化管悪性疾患に対する内視鏡的治療技術の習得

内視鏡的粘膜切除術、ポリペクトミー

ERCP 関連手技の習得

EST、載石術、内瘻化術等

内視鏡関連手技の習得

内視鏡的胃瘻造設術、消化管異物除去術、EIS、EVL 等

肝悪性疾患に対する局所治療技術の習得

PEIT、RFA

消化器系悪性疾患に対する化学療法技術の習得

(3)3 年次研修内容

消化器系特殊診断技術の習得

EUS、IDEUS、PTCS、腹腔鏡等

消化器系 IVR 技術の習得

腹部血管造影、TAE、BRTO 等

新技術の的確な導入能力を身につける

治療成績の的確な統計的評価、発表能力の習得

チーム医療の指導

(B コース)

1 消化器疾患の診断方法

消化管疾患（胃、小腸、大腸）および肝胆膵疾患の診断、急性腹症の診断

2 消化器疾患に関する検査技術の習得

上部消化管内視鏡検査、腹部超音波検査

3 消化器疾患に対する適切な治療方針の決定と指示

4 画像診断法（CT, MRI, Echo, Angio etc）の的確な読影能力の習得

5 インフォームドコンセント能力の習得

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	上部内視鏡 (外来)	上部内視鏡	腹部エコー	下部内視鏡	下部内視鏡
午後	ERCP 肝臓処置	EIS	腹部血管造影 EMR	ERCP	総回診 肝臓処置

*毎週月曜午後 6 時

病棟カンファレンス

*毎週火曜午後 6 時

病棟カンファレンス、抄読会

*毎週水曜午後 5 時

内科カンファレンス

*第 2・第 4 水曜午後 6 時

内視鏡カンファレンス

*毎週金曜午後 5 時

放射線科との合同カンファレンス

*第 3 水曜午後 6 時

肝病理カンファレンス

3 専攻医の評価

(A コース)

(A:目標に到達、B:目標に近い、C:目標に遠い)

	自己評価	指導医評価
1) 1 年次研修評価		
消化器疾患の診断が正確にできる		
消化器疾患に関する検査技術が習得されている		
上部消化管内視鏡検査		
下部消化管内視鏡検査		
腹部超音波検査		
エコー下肝生検		
消化器疾患に対する適切な治療方針の決定と指示ができる		
消化管出血に対する内視鏡的治療技術が習得されている		
画像診断法の的確な読影能力が習得されている		
インフォームドコンセント能力が習得されている		
2) 2 年次研修評価		
消化管悪性疾患に対する内視鏡治療技術が習得されている		
内視鏡的粘膜切除術		
ポリペクトミー		
ERCP 関連手技が習得されている		
内視鏡関連手技が習得されている		
内視鏡的胃? 造設術		
消化管異物除去術		
食道静脈瘤の治療		
肝悪性疾患に対する局所療法技術が習得されている		
消化器系悪性疾患に対する化学療法が習得されている		
3) 3 年次研修評価		
消化器系特殊診断技術が習得されている		
EUS, IDUS		
PTCD, PTGBD, PTCS		
消化器系 IVR 技術が習得されている		
新技術の的確な導入能力を身につけている		
治療成績の的確な統計的評価ができる		
学会活動が適切にできる		
チーム医療の指導ができる		

(Bコース)

(A:目標に到達、B:目標に近い、C:目標に遠い)

	自己評価	指導医評価
正確な消化管疾患の診断ができる		
正確な肝胆膵疾患の診断ができる		
正確な急性腹症の診断ができる		
安全な上部消化器内視鏡検査ができる		
的確に腹部超音波検査ができる		
適切な治療方針をたて、なおかつ指示をだせる		
正確な画像診断能力がある		
インフォームドコンセントが習得できている		